

オーストラリアの生活スタイルについて

角田 晨（高校1年）

僕はオーストラリア滞在中、オーストラリアの生活スタイルについて観察した。現地の人々と暮らしてみて面白いと思ったのは、彼らの一日が日本のそれと大きく違っていたところだ。

オーストラリア人の朝は早い。日本人が平均7時に起床するのに対して、5時頃に起床して、通学や出勤前に軽い運動などをする人が多い。僕の泊まらせていただいた家庭では、週に2、3回程度エクササイズやランニングをしていた。反対に夜が早く、20～22時には就寝してしまう。食事は、朝食はシリアル、コーンフレークなど軽く済ませ、昼食はパスタやサンドイッチ、ファストフードなどが非常に多い。夕食はワンディッシュ+デザートを組み合わせが多く、とてもシンプルだ。多民族国家なので、他国の料理も充実していると感じた。その反面、オーストラリアには「この国ならこれ！」と言える民族料理や郷土料理がほとんどなく（強いて言うなら肉料理か）、とても驚いた。



←オーストラリアの郷土料理

「でっかいステーキ」

ホストファミリーのお家にて

また、生活を取り巻く環境もかなり日本と違う部分があった。その1つに家族がある。日本では核家族のような構成がほとんどだが、オーストラリアでは、祖父母や叔父、叔母、従兄弟などと頻繁に会っていたり、一緒に暮らしていたりする家庭が多い。休日はみんなで食事やアウトドアに出かけていて、人と人との交流をより大切にする傾向があると思った。全員がそうではないけれど、やはり圧倒的にそういった傾向を感じる。また、オーストラリアでは保育園などが日本に比べて少ないと言われていて、そんな中で祖父母などの育児サポートはとても大切だ。自分の泊まった家庭でも、祖母が従弟の赤ちゃんの育児に協力しているのを見ることができた。

このように、オーストラリア人と日本人との生活スタイルには大きな違いがある。そしてそれは、彼らの価値観や性格にも少なからず表われている。たとえば、日本では軽々と「Love you」なんて使わないし、ハグで挨拶もしない。だからオーストラリアに限らず、海外に滞在するときは、現地の生活スタイルを尊重し、理解しながら暮らしていく事が必要不可欠だということを、今回学べた。また機会があれば海外に行きたいし、これから行く人たちには自分が経験した事を伝えていければと思う。